

ふっこうのかけ橋実行委員会

昨年の2月「ふくしま 2165日 昨日 今日 明日」と題して、カリタス南相馬所長のSr.畠中ちあきを神戸にお招きし、南相馬の状況を伺ってから早や1年が経ちました。昨年から続く国の行政機関による公文書の隠蔽やいわゆる「モリカケ問題」、「米朝問題」等、どのチャンネルを選んでも同じニュースにいささかウンザリしましたが、得てしてこういう時は声高な問題の裏で大事なことが、いつの間にかスルーされ、気が付くとアレッ?とすることがよく起こっています。

「ふくしま」の問題も同様に、放射能汚染による帰還困難区域が安全性の如何とは別に時と共にその枠が狭められ、昨年は多くの仮設住宅が閉鎖されました。そのため、自力での住宅再建が難しい人たちは、借り上げ住宅や公営住宅への転居となり、不自由な仮設暮らしの中で、ようやく築くことができた新しいコミュニティも解散となり、人々の関係が振り出しに戻ってしまいました。そしてまた今、“新しい場所”で“新しいコミュニティづくり”が始まっています。

南相馬の寺内第一仮設も同様に昨年3月には閉鎖となり、ここに集いを開催していた「和みサロン真こころ」（神戸地区が手芸品の販売などで支援しています）も閉鎖を危ぶまれていました。が、Sr.畠中からの「うちでやってみませんか？」の言葉に、いくつかの課題を乗り越えて継続されるようになったとのこと。南相馬での交通機関はJR常磐線とバスしかありません。どこへ行くにもとても不便な土地柄ですが、不自由が生じるとまたそれを解決するための手立てが生まれるもので、送迎しましょうというボランティアさんの手があがり、サロンは賑わっているそうです。ちなみに、ここのホールには社会活動神戸センターを通して、ある神父様のご実家にあつたグランドピアノが贈られ、ミニコンサートや歌の練習に活躍しています。

さて、昨年初めて南相馬からのおよこ参加者を迎えた“ふっこうのかけ橋”も今年度の開催に向けて、実行委員会が立ち上げられ、地区評での承認を頂いて、下記のプログラムで準備が始まっています。今年は神戸地区合同キャンプを各小教区の教会学校に呼びかけ、ふくしまの子供たちと共に楽しいひとときをすごせますようにと頑張っています。

ふっこうのかけ橋 2018

全 日 程：2018年8月2日（木）～6日（月）
宿 泊 先：たかとり教会（前泊） 住吉教会（後泊）
初日、姫路城の見学を予定しています。



キャンプ日程：2018年8月3日（金）～5日（日）
宿 泊 先：神戸市立「自然の家」（六甲山）



募 金 期 間：7月中



実行委員会事務局連絡先：078-271-3248
カトリック社会活動神戸センター内